

財務事務監査

～住民に対し監査の信頼向上を図る～

研修目標

監査実務について講義と演習を通して学ぶ

財務の質を高め住民の監査に対する信頼向上を図るため、これら公表資料も概要解説と併せて、財務に関する事務を対象とした監査のポイントを学ぶ。

特徴PR

現場ですぐに活用できる実践ポイントを習得できます

財務に関する事務における着眼点や効率英・有効性を高めるExcel活用法など「リスクアプローチ」を踏まえて現場ですぐに使える実践ポイントやスキルを習得いたします。

詳細

- * 開催日 9月17日(木)/18日(金)
- * 時間 1日目 13:30～17:00
2日目 9:00～16:00
- * 定員 20名
- * 日数 1.5日
- * 研修場所 道庁別館
- * 対象者 監査委員事務局、公営企業局、財政課、行政改革課等の担当職員
- * 研修方法 講義、演習

予定研修科目

- 1 総務省が示す「監査基準（案）」「実施要項」の位置づけと監査実務
 - (1)財務に関する事務を対象とした監査等の意義 (2)主な監査手続き (3)監査等の手続きを定めるにあたり考慮すべき要点 (4)外部監査人のテーマ別監査着眼点
- 2 「地方公共団体における内部統制制度の導入・実施ガイドライン」とリスクアプローチ
 - (1)内部統制の4つの目的と6つの基本的要素 (2)内部統制制度の導入・実施ガイドラインの概要とポイント (3)地方公共団体を取り巻くリスクと監査手続き (4)内部統制
- 3 「財務に関する事務」を対象とした監査等の効率性と有効性の改善策
 - (1)不正の9類型と3つの発生メカニズム (2)裏金等の不適正な会計処理等の事例と対峙法 (3)おかしな数字の見抜き方 (4)監査等に有効な10個のExcel機能
- 4 財務監査等に必要な会計の基礎知識
 - (1)公（官庁）会計と企業会計の違い (2)財務書類の構造と相互関係 (3)損益計算の基本原則と残高管理の重要性 (4)原価償却や引当金などの基礎知識

予定講師

村井 直志 公認会計士 一般社団法人価値創造機構 理事長

大手監査法人・コンサルファーム・税務事務所などを経て、一般社団法人価値創造機構理事長就任。日本公認会計士協会東京コンピューター委員会委員長、経営委員会委員、税務第一委員会委員、業務委員会委員、独立行政法人中小企業基盤整備機構IT推進アドバイザーなどを歴任。第34回日本公認会計士協会研修大会に「CAATで不正会計に対処する、Excelを用いた異常点監査法人」で選ばれる。

予定研修日程

※1日目と2日目の時間帯が異なりますのでご注意ください。

1日目	2日目
<p>13:30 開講・オリエンテーション 監査基準（案）、実施要項の位置づけと監査実務 内部統制制度の導入・実施ガイドライン</p> <p>17:00 終了</p>	<p>9:00 開始 財務に関する事務を対象とした監査等の効率性と有効性の改善策 財務監査等に必要な会計の基礎知識</p> <p>16:00～ 事後調査 閉講</p>

※研修の進め方、内容が変更になることもございますのでご了承ください。